



2022年9月20日

各位

上場会社名 株式会社日本製鋼所
代表者 代表取締役社長 松尾敏夫
コード番号 5631 東証プライム
問合先責任者 総務部長 中西英雄
(TEL:03-5745-2011)

連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

2022年8月8日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。また、未定としておりました2023年3月期の配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （2022年8月8日公表）	266,000	21,500	22,000	—	—
今回修正予想（B）	263,000	19,000	20,000	14,000	190.30
増減額（B-A）	△3,000	△2,500	△2,000	—	
増減率（%）	△1.1	△11.6	△9.1	—	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	213,790	15,460	16,772	13,948	189.63

公表の理由

2023年3月期の連結業績予想のうち、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社の子会社である日本製鋼所M&E株式会社が製造する製品の一部において判明した不適切行為が、当期の業績に与える影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。当社は、不適切行為の発覚を受けて、不適切行為が確認された製品に関連するお客様との間で、製品の品質・性能への影響についての検証を進めてまいりましたが、今般、これらの進捗状況を踏まえ、現時点で想定される費用を織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を算定しましたので公表いたします。

また、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、素形材・エンジニアリング事業において、不適切行為に起因するISO認証停止等の影響から一部製品で出荷遅れが生ずるほか、産業機械事業において、需要は堅調な中、部品価格や輸送費高騰対策として代価改善に取り組んでおりますが、当該施策の効果が出るまでに、期初の想定より時間を要する見通しであることから、通期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

2. 配当予想

	年間配当金額		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (2022年8月8日公表)	—	—	—
今 回 修 正 予 想	29 円 00 銭	29 円 00 銭	58 円 00 銭
前 期 実 績 (2022年3月期)	22 円 50 銭	34 円 50 銭	57 円 00 銭

配当予想の理由

当社は、安定的かつ継続的な配当の実施とその向上を基本姿勢としております。また、企業価値及び株主価値の向上のため、現有事業の安定的な収益力の確保と新事業・新製品伸長に向けた設備投資、研究開発投資を進めるほか、財務体質の改善にも努めてまいります。

また、中期経営計画（JGP2025）期間中においては、連結配当性向30%以上を目標としたうえで、DOE（連結株主資本配当率）2%を下限に配当を実施いたします。

2023年3月期の配当予想につきましては未定としておりましたが、今般、2023年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益予想を算定しましたので、配当方針に従い、第2四半期末における配当金額は1株当たり29円、期末における配当金額は1株当たり29円とし、年間配当金額は1株当たり58円としております。

(注) 上記の連結業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上